

質問者 木村 征郎

質問事項	質問の要旨
1 住宅再建支援金について	<p>大地震から2年3カ月の歳月が流れ、被災者はそれぞれの事情の中で自立再建するか、災害公営住宅にするか、町内に住むか、町外に出るかの厳しい選択に直面している。</p> <p>災害危険区域から外れ、住宅の自立再建を迫られている被災者に、各市町村は独自の再建支援策を打ち出している。そこで伺います。</p> <p>(1) 自立再建を目指す人に相談窓口が必要と思いますが、再建支援に係る申請はいつからですか。</p> <p>(2) 町内外を問わず自立再建する場合、金融機関から融資されない高齢者に、利子補給に代わる補助はありますか。</p> <p>(3) 住宅再建支援金の加算分 200 万円を得た人は、どんな場合でも町内に戻りませんか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
2 今後の町づくりについて	<p>月日の経過とともに、あらためて失った人命、住居、コミュニティーの大切さを噛みしめています。</p> <p>“新しい女川に生まれ変わるんだ”という児童の言葉を励みに協力しあわなければならない。そこで伺います。</p>

質問者 木村 征郎

質問事項	質問の要旨
3 新しい学校の現況は	(1) ゼロからの町づくりであり、町長はどんな特徴の町を目指しますか。
	(2) 離島の人々は地域の存続に大きな不安を抱えており、離島の衰退は本町全体の衰退に繋がります。政策的な支援が不可欠と考えますが。
	(3) 太陽光発電は本町に適しているように感じます。できるだけ多くの公共施設に設置すべきです。個人の住宅の普及をより進める為にも、支援策の拡充を考えては。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	いつの時代も未来を担う子どもたちは地域の宝である。
	未曾有の大震災で、子どもたちは過酷な経験を強いられたが、この苦難をバネに逞しく成長してほしいと願いますが、そこで伺います。
	(1) 4月に行われた全国一斉学力テストに、本町小中学校は参加しましたか。その結果はいつ、どのように発表されますか。
	(2) 2009年から“ゆとり教育”からの転換を図っているが、その影響はありますか。

質問者 木村 征郎

質問事項	質問の要旨
	(3) 大震災後、不登校気味の児童・生徒が多くなっているというが、現状と対策を報告してください。
	(質問の相手：教育長)